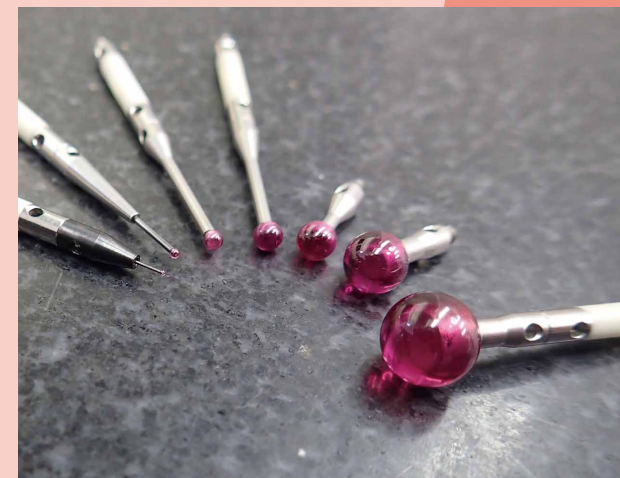


株式会社エコー計測



3次元測定機での立体測定



様々な「寸法測定」に対応



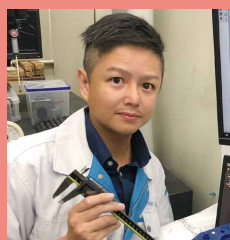
測定チップは極小φ0.5mm～各種あり

測定技術の
スペシャリスト集団
更なる技術進化・設備
強化により、受注拡大へ



3次元測定機

DATA：えこーけいそく



常務取締役：小林 健太

設立年月日：平成18年8月
住 所：〒445-0063 西尾市今川町御堂東44
電 話：0563-54-9401
F A X：0563-54-9402
U R L：http://echo-k.com/
E - M a i l：kobayashi@echo-k.com
資 本 金：1,000万円
業 種：3次元測定機を主とした受託寸法測定及びデータ整理
従 業 員 数：8人

顧客ニーズの多様化に応えるために

当社は様々なものづくり企業の製品寸法測定のアウトソーシングを手掛けている。ものづくりにおいて、品質を維持するために測定業務は不可欠であるが、大手企業においても測定業務を行うための人材及び設備を十分に保有することはコスト高になるため、当社のような企業が必要とされている。近年では、通常の測定業務に加えて、単純に製品サンプルと設計図面寸法との比較照合を行うだけでなく、図面や設計データ等はないが現物のみがある製品サンプルの形状を測定し、図面及びCADデータ等を作成する「リバースエンジニアリング」という分野に対する市場ニーズが高まりを見せている。しかしながら当社の既存設備はリバー

スエンジニアリングを実施する機能への対応が不十分で、測定技術の高度化への取り組みが課題であった。そこで既存設備の3次元測定機に小型・高精度スキャニングプローブ及び付随する解析ソフト、3DCADソフトを「平成25年度補正中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業」を活用し、導入することで顧客ニーズの多様化に対応することとした。

高度化への対応で依頼増加

新設備の導入によって、測定技術の更なる高度化に成功し、製品の構造分析などを行うリバースエンジニアリング事業への新規展開を目指すことができた。既存設備では「点」での評価測定しか行えなかったが、「線」や

「面」といった立体でもとらえることができ、測定範囲の拡大を図ることが可能となった。また、大手企業も測定能力の高度化を進めており、関連業者へも同様のレベルを求められるようになっていた。そうしたニーズにも対応することが可能となり、より小型で複雑な立体でも測定できる体制の構築に伴い、受注は増加傾向となった。また、この立体測定の売上は、当社売上の20%程度にまで成長する結果となった。

設備強化により受注拡大へ

立体測定に必要な3次元測定機は現在保有している設備4台の内、1台にのみ設置されている状況である。今回の設備導入により、多くの企業ニーズが顕在化したため、令和2年12月には3次

元測定機をもう1台追加導入予定である。

当社の販売先は当地区で生産量の多い自動車業界からの受注が全体の80%程度と高く、同業界からの受注は現在でも安定しているが、パチンコや楽器などの製品には納入前の測定業務が必ず必要となることから、様々な企業にリバースエンジニアリングへの潜在ニーズがあるとみている。材質も金属やプラスチックなど多様なものが測定可能であり、既存先を中心に安定的した受注を得ているが、3次元測定機の導入により、既存の顧客からの一層の需要と新たな顧客獲得を目指す考えである。今後もリバースエンジニアリング分野のニーズを汲み取ることで更なる受注増加に繋げ測定技術のスペシャリスト集団として成長していく。



測定に用いる様々な道具